

# 令和4年度佐々神田保育園事業報告書

## 1 保育所の運営

(1) 定員 170名

(2) 年齢別・月別入所児童数（各初日現在）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
乳児	7	8	9	12	16	17	20	21	22	24	25	29	210
1～2歳児	61	61	60	60	60	60	60	62	61	61	61	61	728
3歳児	24	25	25	25	25	25	25	27	27	27	27	27	309
4歳児以上	57	58	58	59	59	59	59	59	59	59	59	59	704
計	149	152	152	156	160	161	164	169	169	171	172	176	1951

(3) 職員数 令和4年度初 39名 令和4年度末 39名

(4) 職員の異動等

### ①採用

年月日	職名	名前	年齢	資格	備考
R4.4.1	副園長		29		
R4.4.1	保育士		24	保育士資格	
R4.4.1	調理員		25	管理栄養士資格	
R4.8.1	調理員		37		
R4.9.1	保育士		29	保育士資格	
R4.9.1	保育士		36	保育士資格	
R5.3.1	保育士		28	保育士資格	

### ②異動

年月日	職名	名前	年齢	資格	備考
R4.4.1	園長		65	保育士資格	配置換増←楠栖保育所
R4.4.1	主任保育士		58	保育士資格	配置換増←楠栖保育所
R4.4.1	保育士		60	保育士資格	配置換増←楠栖保育所
R4.4.1	保育士		48	保育士資格	配置換増←日宇保育所
R5.3.31	保育士		48	保育士資格	配置換減→楠栖保育所

### ③退職

年月日	職名	名前	年齢	資格	備考
R4.7.31	保育士		30	保育士資格	一身上の都合により退職
R4.7.31	調理員		41		一身上の都合により退職
R5.3.31	非常勤保育士		38	保育士資格	一身上の都合により退職
R5.3.31	非常勤保育士		36	保育士資格	一身上の都合により退職
R5.3.31	保育士		40	保育士資格	一身上の都合により退職
R5.3.31	調理員		26	管理栄養士資格	一身上の都合により退職

(5) 職員会議の開催状況

職員会議は月に2回以上、また、家庭で問題等があった場合はすみやかに開催し、保育に支障のない範囲で職員が参加した。内容は各クラスの子どもの様子、研修報告などで、全員で共通理解をして対応した。その後の経過や状況も時間がゆるす限り会議を行った。行事、クラスの様子、保育の内容、気付き、反省を行い計画に繋げた。保育計画、行事等の打ち合わせを行い、全職員が理解し取り組めるよう努めた。ま

た、各クラスP D C Aを大切に、より発展した会議になるようにした。新聞やメディア等で取り上げられる幼児に関する虐待などの記事についても意見の交換をし、子どもを視診、聞きとりをしながら早期発見に努める様にした。また、職員一人ひとりの保育の見直しに努めた。保育士の保育の姿勢や声のかけ方、子どもたちへの対応の仕方など、セルフチェックリストを活用して職員会議の場で話し合った。新型コロナウイルスへの対応については自治体の要請や、国の状況に対応しながら、その都度職員会議を行い、全職員に周知し予防対策を話し合った。新型コロナウイルス感染拡大防止の緊急メールを配信するなど緊急を要する会議を行い、子どもの安全に努めた。給食内容検討会等も月1回開き、各クラスの嗜好や喫食状況・献立の検討や旬の野菜等について話し合い食育にも結びつけた。会議の内容は会議録として記し、全職員に回覧して周知した。

## 2 保育の実施状況

「命を大切に」の理念を柱に、保育課程及び保育計画を立て、子どもの情緒が安定した最もふさわしい生活の場を提供し一人ひとりが自己を十分に発揮して活動出来るよう保育を展開した。コロナ禍の中においても生活面、行事等は出来ることを模索しながら日々の保育を行い、保育の質の向上に努め、子どもが安心して楽しめる環境作りを目指した。運動会は新型コロナウイルス感染症予防対策に配慮しながら、全園児参加でプログラムを簡素化し参加した。また、密にならない様に各家庭2名までの参加とし、マスクの着用、手指消毒、検温の徹底をしながら行った。年長クラスのマーチング演奏を行うなど大いに盛り上がった。お遊戯会はコロナの状況が落ち着いた時期であったので、佐々町の文化ホールにて、感染対策を行いながら全園児で行うことが出来た。

地域活動としては、敬老会等の訪問はできなかったが、2施設の駐車場まで出向き、外でマーチング演奏を行った。施設の方は離れての鑑賞になったが大いに喜ばれ、子どもたちもいつもと違う緊張感を味わうことが出来た良い訪問になった。バスハイクはコロナの状況を見ながら、遠方の公園に行き思いっきり体を動かすなど、いつもと違った雰囲気を楽しんだ。また、乗り物のルール、他人がいる場所でのルールを学ぶことが出来た。食品アレルギーがある子には、チェック表を使って献立の相違を把握し、目視、声掛け、食器による色分け、専用トレイ、個別テーブル、ネームプレートで職員間の意識の共有を図り、安全性に努めた。食育においては、年長児は園庭のプランターで野菜作りをし、自分達が作った野菜を食べたり、佐々学童農園（町営）へ行き、芋の苗挿しから、収穫、大根の種蒔き、収穫をして食の大切さを学んだ。園庭下に食育農園を作り、夏みかん、ブルーベリー、サクランボ等を植樹し、子どもたちに収穫の喜びを感じさせるようにしていきたい。誕生会の時はラップを使っておにぎり作り、ジャムサンド、クッキーを作り、おひなさまの行事のときのカップちらし作りなど、積極的に参加し食べる楽しさや食の大切さを感じられる保育になるよう心がけた。安全・健康面では、子どもたちの体調は健康カードにて把握し、午前、午後の検温、視診で体調管理に努めた。また、来園者の体温を計るAI型サーマルカメラを導入し、記録に残した。大雨や台風などの避難には全家庭緊急メールに登録してもらい、早めの避難ができるよう協力をお願いした。事故防止対策としては遊具の点検、室内の安全保守を行い、毎週金曜日に点検項目を確認しながら危険箇所、破損がないかを点検し、修理が必要な箇所は迅速に対応し子どもたちの安全に努めた。

## 3 外部講師

指導内容	講師名	指導回数（月・週指導回数）	外部委託会社
幼児体育教室指導		年間 18 回	いむら体育教室
漢字保育指導		年 6 回	登龍館
英語遊び指導		年 40 回	ECC 英語教室

#### 4 年間行事の実施状況

実施年月日	行 事	実施年月日	行 事
R4. 4. 1	進級式（入園式）	4. 12	バスハイク
4. 15	誕生会	4. 25	防災訓練
5. 10	歯科健診	5. 11	バスハイク
5. 17	バスハイク	5. 18	尿検査提出
5. 20	誕生会	5. 23	内科健診
5. 24	バスハイク	5. 25	交通安全教室
5. 27	防災訓練	5. 28	親子遠足（田平公園）
6. 17	誕生会	6. 29	防災訓練
7. 7	七夕会	7. 12	バスハイク
7. 13	バスハイク	7. 15	誕生会
7. 28	防災訓練		
8. 26	誕生会	8. 29	防犯訓練
8. 30	防災訓練		
9. 1	夏祭りごっこ	9. 9	誕生会
9. 12	大根種まき（学童農園）	9. 14	交通安全教室
9. 16	バスハイク（笑福訪問）	9. 28	防災訓練
10. 15	運動会	10. 19	尿検査提出
10. 21	誕生会	10. 24	芋掘り（学童農園）、内科健診
10. 28	バスハイク（笑福訪問）マーチング	10. 31	防災訓練
11. 1	バスハイク（虹の里訪問）マーチング	11. 4	鍛錬遠足
11. 5	佐々青少年音楽祭参加（マーチング）	11. 9	交通安全教室
11. 11	誕生会	11. 25	総合防災訓練
12. 10	お遊戯会	12. 12	大根引き（学童農園）
12. 16	誕生会	12. 21	クリスマス会
12. 23	防犯訓練	12. 28	防災訓練
R5. 1. 11	交通安全教室	1. 17	園内カルタ大会
1. 20	誕生会	1. 27	防災訓練
2. 1	防災訓練	2. 3	節分会
2. 8	バスハイク	2. 15	マラソン大会、防災訓練
2. 17	誕生会	2. 22	交通安全教室
3. 3	ひな祭り会、誕生会	3. 7	なわとび大会
3. 10	お別れ遠足	3. 13	防犯訓練
3. 18	卒園式	3. 27	クッキー作り
3. 31	防災訓練		

5 職務分担表（令和4年度最終版）

職名及び氏名	職務内容
園長 渡邊 エミ子 苦情解決責任者	1 理事会の決定事項の執行 2 運営管理(人事、労務、施設、防火) 3 保育業務の管理 4 財務管理 5 職員の資質向上(研修) 6 関係機関、保護者会等との連携、及び地域活動 7 苦情解決責任者
副園長	1 園長の補佐 2 運営管理、保育業務の補佐
主任 保育士 苦情受付担当者	1 園長の補佐 2 職員相互の連携 3 保育計画の作成及び保育内容の指導助言 4 保育園内研修の企画及び指導 5 保育園行事に関する計画及び指導 6 保健衛生に関する計画及び指導 7 給食に関する指導助言 8 職員会議の計画と実施 9 小学校との連携 10 苦情受付担当者
保育士 共通事項	1 指導計画の作成 2 保育実務 3 保育に関する記録 4 園児の健康と安全管理 5 調理員との連携 6 保護者との連絡及び指導 7 園だよりの作成
保育士	* 藤組の担任
保育士	* 梅組の担任
保育士	* 桜組の担任
保育士	* 桃組の担任
保育士	* 菫組の担任
保育士 看護師	* 蒲公英組の担任
事務員	1 保育園の事務一般に関すること
保育士	1 共同遊具の整理、整頓、点検 2 保育所内外の掃除の点検
保育士	1 保育材料に関すること 2 図書の管理 3 備付物品に関すること
保育士	1 交通安全及び避難訓練に関すること
主任保育士 衛生推進者	1 衛生推進に関すること
看護師 保育士	1 保健衛生に関すること 2 医薬品の整備、保管 3 検便に関すること 4 健康診断及び歯科検診、尿検査に関すること
保育士	1 延長保育事業に関すること
保育士	1 障がい児保育に関すること
保育士 食育担当者	1 食育に関すること
調理員	1 献立の作成、及び給食材料の発注、検収 2 給食人員の把握 3 調理、配膳 4 炊具、食器の保管 5 給食事務 6 園舎内外の清掃、整頓に関すること
嘱託医	1 園児の健康診断 2 園児の健康に関する指導
嘱託 歯科医	1 園児の歯の検診 2 園児の歯の健康に関する指導

## 6 施設等の整備状況

### (1) 施設の改築・修繕（100万以上）

年 月	工 事 名	金 額

### (2) 固定資産物品（10万以上）の購入

年 月	物 品 名	金 額
R4. 6. 7	来客報知システム	169,730
R4. 12. 1	オールステンレス2連ブランコ	478,500
R4. 12. 1	オールステンレス3連鉄棒	280,000
R4. 12. 26	リンレイ衣類乾燥機 RDTC-80A	225,000
R5. 3. 31	園庭芝	539,000

## 7 保育所の自己評価

### (1) 職員の自己評価

保育の質の向上を図るため、自らの行う保育について常に子どもの視点に立つことを意識した。自己評価を年に2回に分けて行い、反省を踏まえつつ次年度の目標を立てるようにした。

### (2) 保育園における自己点検・自己評価

今年度は新型コロナウイルス感染症の状況に応じた保育園の運営を行った。保育園の実態に照らし合わせ、年度末にクラス単位で評価を見直した。最終的には施設長の責務のもと保育園全体の点検・評価につなげた。

園全体の評価を4段階で表し、外部への公表も行い、当園の現状及び改善点を明らかにした。

## 8 職員の研修参加状況

令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の状況に合わせて、外部研修に参加することができた。また、キャリアアップ研修もeラーニングでの参加し、スキルアップに努めた。研修後は職員会議で全職員に報告を行い、理解を深め日々の保育にその成果を取り入れた。

法人内研修（公開保育）を数年ぶりに実施することができた。各園の地域性や子どもの人数の異なる環境において行われている保育を見ることができた貴重な時間となった。意見交換や情報交換を行うことにより、保育の質の向上・保育認識の再確認ができた。さらに、各園それぞれ法人内研修の結果報告を行い、法人内の連携につなげ、情報の共有を行った。

年 月 日	研 修 会 名	参 加 者 名
R4. 4. 22	食育研修会	
R4. 4. 27	保育研修会（オンライン）	
R4. 5. 20	初任者研修会（オンライン）	
R4. 7. 22	主任・主幹研修会	
R4. 11. 5	給食担当者研修会	
R4. 10. 18	保険研修会	
R4. 11. 10	保育士部会研修会（オンライン）	
R4. 12. 21～22	障害児保育（キャリアアップオンライン研修）	

R4. 12. 17～19	同上	
R4. 12. 21～22	同上	
R4. 12. 16～17	同上	
R4. 12. 16～17	幼児教育（キャリアアップオンライン研修）	
R5. 1. 11～12	保健衛生・安全対策（キャリアアップオンライン研修）	
R5. 1. 13～14	マネジメント（キャリアアップオンライン研修）	
R5. 2. 7～8	保護者支援・子育て支援（キャリアアップオンライン研修）	
R5. 2. 7～8	乳児保育（キャリアアップオンライン研修）	
R4. 11. 29	法人内研修 公開保育研修参加（針尾保育園）	
R4. 11. 29	法人内研修 公開保育研修参加（針尾保育園）	
R5. 12. 5	法人内研修 公開保育研修参加（楠栖保育所）	
R5. 12. 8	法人内研修 公開保育研修参加（ルンビニ保育園）	
R5. 2. 20	法人内研修 公開保育研修参加（佐々神田保育園）	
R5. 2. 24	法人内研修 公開保育研修参加（日宇保育所）	

・漢字保育園内研修 外部講師（松山佐智子）…4/21・8/18・10/27・11/18・12/23・2/24

## 9 意見・要望・苦情・不満処理受付状況

- ・親子遠足の中止決定について、その判断が遅かったという意見をいただいた。その後行事においては、気象情報等を参考に、天候によって中止するか否かは早めの決定に努めるようにした。
- ・新型コロナウイルス感染症の園内感染流行について、さまざまな意見をいただいた。なかでも、休園するか否か、感染情報に関する事の問い合わせが多かった。保育園は園のみの判断では行動できず、厚生労働省をはじめとする行政からの指導により、判断・行動する旨を、厚生労働省からの「保育所等における新型コロナウイルスへの対応にかかるQ&A」を依拠に文書で説明した。また、電話や玄関において問い合わせがあった場合は一人ひとり丁寧に説明し理解を求めた。さらに、新型コロナウイルス感染症園内流行に関しさまざまな噂話を聞いたという申し出があった。保育園には苦情解決の制度があることを説明し、SNSや噂話等さまざまな情報に惑わされず、何か不明な点があればいつでも申し出されたい旨を説明した。いずれにしても、文書を配布した後は、苦情や意見、申し出は聞かれなくなった。
- ・お遊戯会の保護者の参加方法に関して運営へ申し出があった。当時、長崎県内において新型コロナウイルス感染症の流行が落ち着いていたため、当初は参加制限を設けなかった。しかし、周辺地域において流行の兆しを見せ始めたため、掲示板及び口頭において保護者の参加制限を周知した。小学生の参加はお断りしていたが、お遊戯会当日に小学生を連れていた保護者がいたため、注意してほしいとの申し出があった。そのため、会場にてアナウンスをし、後日当該保護者に小学生の参加はお断りしていた旨を説明した。

保育園（所）における自己点検・自己評価

（園名 佐々神田保育園 ）

・ A、B、C、Dの4段階評価

- A：大変良い  
 B：良い  
 C：一部検討を要する  
 D：改善を要する

◎ 保育の計画の編成と実施に関する評価

項目	内 容	評 価				意見・改善策
		A	B	C	D	
保 育 目 標 に つ い て	(1) 保育目標の具現化に向け、乳幼児の実態を踏まえた保育課程を設定しているか。		○			<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 前年度の評価・反省を話し合い、全体的な計画を作成した。</li> <li>・ 日々の保育を振り返りながら指導・経過記録を記入することで反省点が明確化され改善することができた。</li> <li>・ 各クラス、園全体で保育目標について共通理解をし、実践に繋げる様に努めた。</li> <li>・ 一人ひとりの子どもの意欲が引き出されるように言葉かけや自信が持てるような働きかけをするなど興味を持つ保育内容とした。</li> </ul>
	(2) 目標は、施設や地域の特色を生かしているか。		○			
	(3) 目標は、情勢を鑑みて子どもの最善の利益になっているか。		○			
	(4) 目標は、前年度の反省を生かしているか。		○			
	(5) 目標は、全職員で検討し、かつ共通理解を図っているか。	○				
保 育 に つ い て	(1) 指導計画は乳幼児の実態に即して作成しているか。		○			<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 園児の実態や地域性、社会情勢など、全てにおいて総合的に判断して保育を行った。</li> <li>・ 臨機応変に計画を変更、見直しを行い園児にとって最適な保育となるようにした。</li> <li>・ 保育士が身近にいて一人ひとりの子どもに寄り添うよう努め、気持ちの安定を図った。</li> </ul>
	(2) 保育所保育指針に基づく援助・支援を適切に行っているか。		○			
	(3) 環境の構成を意識した保育や過程を常に工夫しているか。		○			
	(4) 評価結果を基に、保育の改善に努めているか。		○			
日 時 程	(1) 1日の流れ（デイリープログラム等）は現行でよいか。		○			<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 行事や時間に応じて、臨機応変に各クラス保育を進めることが出来た。</li> </ul>
行 事 に つ い て	(1) 行事の種類や実施回数は適切か。		○			<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新型コロナウイルス感染症予防の為様々な行事が中止縮小延期を余儀なくされた。</li> <li>・ 掲示板やお手紙で行事予定内容等を知らせた。</li> <li>・ 行事の規模や開催方法について、臨機応変に対応した。</li> <li>・ 新型コロナウイルス感染症流行度合の変化に伴い、一部行事において保護者の参加制限に混乱を招いてしまった。</li> </ul>
	(2) 行事のねらいを計画や実施に十分生かしているか。		○			
	(3) 乳幼児の活動範囲を明確にし、自主的・実践的な活動にしているか。		○			
	(4) 計画・実施・評価・改善の体制をとっているか。			○		

◎ 保育の計画の編成と実施を支える諸条件に関する評価

項目	内 容	評 価				意見・改善策	
		A	B	C	D		
経営・組織	分掌・体制	(1) 能率的、合理的な運営組織になっているか。		○			<ul style="list-style-type: none"> <li>・職務分担表で職員の職務内容を明確に知らせる事で協働しやすい体制作りに努めた。</li> <li>・正職と準正職の職務内容を明確にした。</li> </ul>
		(2) 職務内容が明確で、協働できる体制になっているか。		○			
		(3) 職員の配置は適材・適所か	○				
		(4) 係や仕事の分担・割り当ては適切か。	○				
	運営	(1) 各種会議を適切かつ効率的に進めているか。		○			<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的な職員会議はもちろん、行事前等には、必要に応じて職員会議を行う事で情報の共有や問題の改善を行った。</li> <li>・クラス単位や複数クラスでの小規模な会議も活発に行う事が出来た。</li> </ul>
		(2) 職員相互がそれぞれ全体的立場を理解し、協力や助言を惜しむことなく施設の運営に関わっているか。			○		
		(3) 打合せ回数、時間、内容は適切か。	○				
	年齢別・クラス経営	(1) 年齢別・クラス目標は、保育目標に基づいて設定しているか。		○			<ul style="list-style-type: none"> <li>・年齢別、クラス目標は保育目標に基づいて設定した。</li> <li>・養護と教育を一体的に行う為に子どもとの生活や遊びを通して、乳幼児の実態に即して設定した。</li> <li>・同年齢異年齢の関りは保育所の活動の中で、大切な時間だと考えられるが、新型コロナウイルス感染症拡大予防「蜜」の状態を避けるために異年齢の関りは今までのようにできなかった。例として、お誕生会ではホールに一堂に会して祝ったりするが、「蜜」を避けるために、各クラスで祝うなど変更を余儀なくされた。</li> </ul>
		(2) 年齢別・クラス目標は、乳幼児の実態に即して設定しているか。		○			
		(3) 年齢別・クラス目標に迫る短期・長期のねらいは適切に設定しているか。		○			
		(4) 同年齢及び異年齢時間の効果的な活動の充実を図っているか。		○			
		(5) 意義や趣旨を理解したチーム保育を行なっているか。		○			
(6) 評価、資料(諸記録)を集積しているか。		○					
保健・安全指導	(1) 年齢別・クラス経営に生かされるような具体的保健対策を講じているか。		○			<ul style="list-style-type: none"> <li>・年間計画に基づいた対策や訓練・指導を適切に実施出来た。</li> <li>・日々の健康管理はもちろん、内科、歯科健診、尿検査(3歳児以上)等について実地日の変更もしながら、適切に行い園児の健康の留意に努めた。</li> <li>・避難訓練や交通安全教室は計画通りに実施することが出来た。</li> <li>・保健だよりを適宜発行し、家庭への啓発を行った。</li> </ul>	
	(2) 避難訓練・交通安全指導を、計画に基づいて適切に実施しているか。	○					
	(3) 健康・安全な生活に必要な習慣や態度育成のため、家庭への啓発を行っているか。	○					
	(4) 乳幼児の安全確保のため、家庭・地域社会・関係機関等と連携を図っているか。		○				
研修	所内研修	(1) 所内研修は、保育目標の具現化につながるものであるか。		○		<ul style="list-style-type: none"> <li>・法人内研修など、状況を見ながら行った。コロナ禍になり、依然と比べ新たに気付いたことや保育の見直し等ができた。</li> <li>・新聞保育雑誌等での気になる記事を全職員で回覧し日々の保育に生かすことができた。</li> <li>・国民的関心の高まった保育に関する報道等に対して、全職員への回覧での周知及び、職員会議で議題に挙げ、自身の保育の見直しにつながるよう何度も話し合った。</li> </ul>	
		(2) 所内研修の計画・運営は適切か。		○			
		(3) 研修の成果を日常の保育に生かし、乳幼児の育ちに反映させているか。		○			
		(4) 研修の実践による乳幼児理解が深まりを見せているか。		○			
	所外研修	(1) 各種研修会、講習会への参加態勢の充実を図っているか。		○			<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナウイルスの状況を見ながら研修に参加することが出来た。キャリアアップ研修は、オンラインで受講でき、各保育者のスキルアップにつながった。</li> <li>・eラーニング研修に参加し、職員会議において報告し成果の還元を務めた。</li> </ul>
		(2) 各種研修会、講習会での内容を所内に還元しているか。		○			



項目	内 容	評 価				意見・改善策
		A	B	C	D	
情報 につ いて	(1) 乳幼児や保護者に関する個人情報を適切に取り扱っているか。	○				・当福祉会の個人情報取り扱いに基づき適切に行えた。
	(2) 公文書收受、発送、処理を適切に行っているか。	○				
	(3) 各諸表簿は適切な時間・方法で作成・処理しているか。	○				
施設 ・ 設備	(1) 施設内外・設備の安全点検を計画的に行っているか。	○				・遊戯用具の点検は専門業者による年1回の定期点検や、職員による週1回の安全点検を行う事で適切な管理や使用を行った。 ・防犯カメラや専門業者による夜間の警備など、不審者対策も行っている。 ・必要に応じて情報の提供や注意喚起の掲示を行った。 ・屋内危険箇所の安全点検を週一回行った。 ・遊具の整備及び充実を図った。
	(2) 遊具・用具等を、活用しやすいように整理・保管しているか。	○				
	(3) 不審者等に対応する周到な配慮を行っているか。	○				
	(4) 掲示板、掲示場所等を適切かつ効果的に活用しているか。	○				
出納経理	(1) 各種会計を適正かつ適切に処理しているか。	○				・各種会計は適切な処理が出来た。
開 か れ た 連 携 保 育 所	(1) 他施設等との年間交流計画は、保育目標や課題に添ったものになっているか。		○			・針尾福祉会の園同士での交流を年間計画に立てていたが、コロナ禍の為に実施することができなかった。 ・就学前の打ち合わせ等は、年度末に地域の集会場において佐々小学校及び口石小学校と対面で行った。子ども一人ひとりの情報交換ができ、安心して小学校に進学できるようにした。 ・口石小学校の就学前の学校体験行事に参加して在校生と交流することができた。
	(2) 他施設等の幼児児童生徒と触れ合う中で(乳)幼児が楽しく過ごし充実感を味わうことができるような配慮や援助・支援を行っているか。		○			
	(3) 指導者どうしが、打合せや事前研修・合同研修を行い、互いの保育・教育に対する理解を深め、援助について共通理解を図っているか。	○				
	(4) 参観や保育・授業等に参加するなどして、幼稚園・小学校の教育を理解しているか。	○				
	(5) 日常的に情報を交換し、それを交流活動に生かしているか。		○			
づ く り	(1) 参観時間を制限せず、参観日等を設定しているか。	○				・県のコロナ感染段階レベルが「1」の間に全園児対象に半日保育参観を行い、園での子どもの様子を保護者へ見て頂くことができた。 ・安全に配慮しつつ高齢者施設を訪問し、駐車場でマーチング演奏を鑑賞していただいた。また、バスハイクなど社会性を身に着ける機会を作った。 ・地区青少年音楽祭に年長児が参加し、マーチングを披露した。
	(2) 保護者を含む地域の人材活用の時期・内容は適切か。			○		
	(3) (乳)幼児の興味や関心に基づいて地域社会・その他の施設と交流しているか。		○			
	(4) 地域の行事に積極的に参加し、地域の文化や生活に触れているか。	○				

項目	内 容	評 価				意見・改善策	
		A	B	C	D		
開 か れ た 推 進	子 育 て 支 援 の 推 進 保 育 所 情 報 の 開 き	(1) 地域に住む子どもどうし、あるいは親子が一緒に遊ぶことができるような場の設定を行っているか。		○			<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要に応じて保護者からの相談に応じた。</li> <li>・子どもの発達や健康状態について心配な場合は、保育者の要望に応じて専門機関の情報を提供した。場合によっては専門機関と園が連携をとるようにした。</li> <li>・気になる子、保護者は佐々健康センターと連携をとって情報交換を行った。</li> </ul>
		(2) 職員による育児に係る「子育て相談」は充実しているか。		○			
		(3) 医療機関、児童相談所等の専門機関と連携をとり、保護者にとって必要な情報を提供しているか。	○				
外 部 評 価	保 育 所 情 報 の 開 き	(1) 保育所だより・クラス通信、ホームページ等で施設の情報を発信しているか。	○				<ul style="list-style-type: none"> <li>・園だより、保健だより、給食献立表は発行日を決めて保護者に配布した。</li> </ul>
		(1) 第三者評価を導入し、施設運営に反映しているか。				○	
		(2) 保護者の意見を施設運営に反映しているか。		○			